

同窓会会報

高知女子大学看護学部



創刊号

平成22年7月10日発行

〒781-8515 高知市池2751-1



平成22年4月、高知女子大学本部新校舎が池の地に完成しました(写真:大学正面玄関)。
現在の看護学部に至る歴史は、永国寺キャンパス、南舎において開始され、平成10年には看護学科から看護学部への独立を果たし、キャンパスも池の地に移ってきました。
その後、看護学部はさらなる充実・発展をし、大学改革とともに新生になったのを機に看護学部同窓会が設立されました。本同窓会会報は、記念すべき創刊号として発刊いたしました。
本同窓会は、意義ある同窓会として皆さまとともに歩んで参ります。



Revolution in April, 2011 高知女子大学看護学部がパワーアップ！
伝統を守りながら発展し続ける大学として・・・

高知女子大学は、60年目を迎える平成23年4月から男女共学となります。
そして、校名を「高知県立大学-University of Kochi」に変更する予定です。

主な
内容

- | | | |
|-------------|---------------|----------------|
| ①会長ごあいさつ | ⑤看護学部の風景 | ⑨卒業生・修了生からひとこと |
| ②副会長ごあいさつ | ⑥卒業生・修了生の動向 | ⑩会則 |
| ③同窓会役員ごあいさつ | ⑦地域に開かれた大学として | ⑪寄付 |
| ④看護学部の歴史 | ⑧同窓会総会の開催 | |



会長 ごあいさつ

南 裕子(11期生)



このたび、高知女子大学看護学部同窓会(以下、本同窓会)が創設され、皆様よりご推薦いただき会長をお引き受けしました南裕子(11期生)と申します。大変僥越ですが、同窓会会報を発刊するにあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

本同窓会が誕生した背景には、現在の社会の激しい動きが高知女子大学(以下、母校)を巡る状況にも大きな変化をもたらしており、その背景のもと母校では歴史上画期的な改革が進行しています。例えば、県立大学から法人化へ、女子大学から共学へという大きな変革の計画に加え、看護学部では今年4月から一学年定員が80人になり、それに伴い教員も増員され、講義棟などの増築がされるなど教育・研究環境はめざましく改善されました。

高知県民にとって母校の看護学部の重要性は、今までと同様、またそれ以上に高まっているといえましょう。卒業生の一人としてそのような発展を大変誇りに思います。一方、看護を取り巻く社会情勢も大きく様変わりしています。

昨年、保健師助産師看護師法が改正されましたし、現在厚生労働省で審議されている「チーム医療検討会」では、高度な実践を行う看護師の法律化など看護界を取り巻く状況が加速的に変化しています。

昭和27年に全国に先駆けて大学で看護学教育を初めて開始してより約60年間、1555人の卒業生・修了生が巣立ち、看護界のさまざまな分野で活躍されています。多くの卒業生・修了生が国内外のリーダーとして、人々の健康の向上と看護体制や実践の改善、看護学教育や研究の発展に寄与されています。このような状況を背景として、めざましい母校の改革を機に、本同窓会を立ち上げようとする機運が大学内外から沸き起こり、同窓会設立準備委員会が設けられました。そして、昨年7月に高知女子大学看護学会総会の際に、本同窓会の設立を呼び掛け、了承されました。その後、役員の人選についても皆様のご協力により決定することができました。

本同窓会は、「会員相互の親睦と交流をはかり、会員の社会的発展に資し、併せて高知女子大学看護学部の発展に寄与すること」を目的としています。母校と卒業生・修了生の絆は、それぞれが日頃の仕事や専門職団体(学会や職能団体等)での役割を遂行していく上でとても役立っていると思われまふ。また母校にとりましても、卒業生・修了生とのネットワークや皆様の活躍は、教育・研究・社会貢献を発展・促進する上でも重要な財産となっていると思われまふ。本同窓会の発足によって、同窓生と母校との繋がりがさらに深まり、お互いの向上に役立つのではないかと信じています。

今後の同窓会の運営や活動につきましては、皆様方より活発なご意見や積極的なお力添えをいただきながら、実りある同窓会として発展させていきたいと存じます。

副会長 ごあいさつ



松本女里
(8期生)

母校はこの春より看護学部入学生の定員が80名となり、私達古い卒業生にとっては考えられない人数となりました。

平成10年に看護学科は学部となり、大学院も設置され、キャンパスも池に移り、今また新しい学舎も増設され益々発展してきております。

大きくのびてゆく看護学部は、卒業生の数も年々増加することになります。しかし、卒業生の増加に伴って看護学部の特徴である結びつきの深さ、連携のとりやすさが希薄になるのではと心配にもなります。

卒業生の密な交流を保ってきたのは、高知女子大学看護学会がその一端を担ってきたと考えます。これから卒業生数が増加し、また学会のあり方を考えるとき、看護学会は学術集会として学術的研鑽をはかり、看護の実践の向上と看護学の発展を目的とし、一方卒業生相互の親睦と交流を担うのは看護学部同窓会とし、役割を明確にする必要があると考えます。

平成22年度より大きく発展してゆくこの機会に新たに同窓会を発足させ、看護学部の伝統である卒業生・修了生相互の連携の深さを保つ必要があると考えます。

高知女子大学看護学部を発展させるためには、益々卒業生の皆様の力が必要となりますので同窓会の発展のためよろしくお願い致します。

皆様方のご協力を得て、高知女子大学看護学部同窓会が設立されたこと、看護学部教員一同心より感謝いたします。

この同窓会には高知女子大学家政学部衛生看護学科、看護学科、看護学部看護学科、看護学研究科、健康生活科学研究科の卒業生・修了生1555名が属しています。看護学科は、和井兼尾先生、森田道子先生、山崎智子先生、山崎美恵子先生、松本女里先生などの諸先生方のリーダーシップにより、慈しまれ着実に発展することができました。そして看護学科では「看護学の発展に貢献しよう」「臨床を大切にしよう」「看護の開拓者であろう」「仲間を、人を大切にしよう」とのメッセージが発せられ、同窓生一人ひとりの心奥深く刻まれてきたものです。看護学科を取り巻く環境が変わろうとも、このような看護の心は脈々と受け継がれていっています。

皆様方のご協力により、新学部棟が建設され、さらに大学名称が変更するこの時、同窓会が設置されたことは記念すべきマイルストーンとなります。皆様方とも、同窓会が発展するように取り組んで参りたいと思っています。



野嶋佐由美
(20期生)

同窓会役員 ごあいさつ

同窓会の役員として、本年度から平成24年度までの3年間役割を担うことになりました。同窓生の皆様には、同窓会の事業や企画等、積極的にご参加いただきますようお願いいたします。各期の動向などについてもぜひお知らせください。皆様と一緒に、同窓会の活動を盛り上げ、同窓生同士のネットワークを広げていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひします。



同窓会役員



役員名	氏名	卒業・修了期	所属
会長	南裕子	11期生	近大姫路大学看護学部
副会長	野嶋佐由美 *1	20期生	高知女子大学看護学部長
	松本女里 *2	8期生	高知女子大学看護学会会長
書記	中西純子	博士1期生	愛媛県立医療技術大学
	池添志乃	34期生, 修士2期生 博士1期生	高知女子大学看護学部
会計	池田恵美子	30期生, 修士9期生	高知女子大学看護学部
	川上理子	35期生	高知女子大学看護学部
会計監査	山本雅子	23期生	中央東福祉保健所
	久保田加代子	25期生	高知医療センター看護局
庶務	梶原和歌	10期生	近森病院看護部
	森下利子	19期生	高知女子大学看護学部
	高谷恭子 *3	45期生, 修士6期生 博士5期生	高知女子大学看護学会

但し、*1:看護学部長、*2:看護学会会長、*3:看護学会役員は当て職とする





高知女子大学看護学部看護学科の歴史

《年代》	《主な出来事》
1952	高知女子大学家政学部看護学科として、日本で最初の4年制の大学課程における看護教育機関として認可を受ける 看護婦学校としての指定を受ける
1954	中学校、高等学校(保健)及び養護教諭免許状授与の資格を得られる課程として認定される
1955	保健婦学校として指定される
1959	家政学部衛生看護学科に改称、カリキュラムの一部を改正する
1964	大学改組が行われ、家政学部は家政学科、食物栄養学科、生活理学科、衛生看護学科の4学科となる
1976	高知女子大学看護学会を発足する
1979	日本看護系大学協議会の発足に看護学科の教員が尽力をする
1980	新南学舎が完成し、新たに看護実習室や看護教室を整備
1981	家政学部看護学科に再び改称、学士号も看護学士となる
1982	日本看護科学学会発足に看護学科の教員が尽力をする 高知女子大学看護学科30周年記念事業を展開する
1984	第4回日本看護科学学会学術集会(山崎智子会長)が開催される。看護学科三十年史を刊行する
1985	高知女子大学看護学会が地域の人々を対象に「公開講座」を開催する(現在継続中)
1990	厚生省の20年ぶりの看護教育カリキュラム改正に伴い、大幅なカリキュラム改正を行う
1991	「看護の日」制定にあわせて「高知女子大学看護学科を理解していただくための大学開放」を開始する(現在は、オープンキャンパスに発展)
1992	高知女子大学看護学科が地域の看護職の人々を対象に「公開講座」を開催(現在継続中)
1998	大学改組。4学部6学科に改編し、家政学部看護学科から看護学部看護学科として独立し、池キャンパスに移転する。大学院看護学研究科修士課程が設置され、家族看護学、精神看護学、がん看護学、小児看護学、在宅老人看護学、看護管理学領域での大学院教育を開始する 高知女子大学看護学部改学記念講演を開催する 地域の看護職を対象とする事例検討を中心とする「看護相談室」を開設(現在継続中)する
1999	家族看護学、精神看護学、がん看護学、小児看護学、老人看護学CNSコースが日本看護系大学協議会の専門看護師教育課程の認定を受ける
2000	オレゴンヘルスサイエンス大学看護学部と国際交流協定を結ぶ 地域看護学CNSコースが日本看護系大学協議会の専門看護師教育課程の認定を受ける
2001	大学院健康生活科学研究科博士後期課程(看護学領域)が設置される
2002	看護学部としての初めての卒業生が巣立ち、全卒業生は1044名となる 大学院修士課程看護学研究科に臨床看護学コースを設ける
2003	高知女子大学看護学部50周年記念事業として、「大学における看護教育の社会にとっての意味: 現在・過去・未来」というテーマでパネルディスカッションが開催される
2004	高知女子大学大学院健康生活科学研究科(博士後期課程)において、看護学領域で最初の博士学位が授与される
2007	高知医療センター看護局と本学看護学部との間で、看護連携型ユニフィケーション基本協定書締結式が開催される
2010	看護学部の定員が80名に増員される。大学院修士課程看護学研究科の定員が15名となり、地域保健学コースを新設する。在宅看護学CNSコースが日本看護系大学協議会の専門看護師教育課程の認定を受ける
2011	男女共学を実施し、これにあわせ、校名を「高知県立大学—University of Kochi」に変更する(予定)

看護学部の風景

平成22年4月より大学本部が池キャンパスに移転し、看護学部・社会福祉学部・健康栄養学部の3学部となりました。華やかさや賑やかさが一層増したキャンパスライフを紹介します。

学舎の風景



晴天時の看護学部棟です。

新校舎です☆



看護福祉棟が看護学部棟の横にできました！



図書室での学生さんの様子です。ここもリニューアルします。



看護福祉棟の100人教室です。



成人看護実習室にてモニターチェック中。
さあ、アセスメントしてみましょう！



静脈注射の演習風景です。院生さんがTA
(ティーチング・アシスタント)となり、学生
さんも真剣そのものです！

キャンパスライフのひとコマ



4月21日創立記念日
「バスハイク」

龍馬博物館へ
行きました♪



3年生・編入生の懇話会



先輩から手作り
Ns靴入れプレゼント！



お好み焼きを作りました(^^)



国際化に向けた講義スタートです♪



助産師教育が始まりました。演習に
取り組む眼差しが輝いています



看護研究発表会♪



国家試験に向けて
出発前の4回生たち

看護学生さんたちの未来を応援しています

卒業生・修了生の動向

高知女子大学看護学科の創設(昭和27年)から平成21年度卒業生までの総数は、1411名です。平成10年度に創設された高知女子大学大学院看護学研究科(修士課程)は、創設(平成10年)から平成21年度までの修了生の総数は127名です。高知女子大学大学院健康生活科学研究科(博士後期課程)看護学専攻は、平成13年に創設され、平成21年度までの修了生の総数は、17名です。

学士課程

期 生	卒業生数	学会会員数
1～10期	164	32
11～20期	212	42
21～30期	220	93
31～35期	119	53
36～40期	119	43
41～45期	113	34
46～50期	193	126
51～55期	226	224
56期	45	45
計	1411	692

修士課程

期 生	修了者数	学会会員数
1～5期	51	48
6～10期	60	60
11期	16	16
計	127	124

博士後期課程

期 生	修了者数	学会会員数
1～5回生	13	13
6～7回生	4	4
計	17	17



地域に開かれた大学として・・・

看護学部では、地域の多くの看護職者の方々と共に、健康的な生活の向上さらに健康文化の創造に貢献ができる、教育・研究・社会活動を行うことを目指して取り組んでいます。

☆看護連携型ユニフィケーション

「看護連携型ユニフィケーション」とは、高知医療センター看護局と本学看護学部が“ところをひとつにして、手をつなぎ、よりよい看護の実現”という目標に向かって取り組んでいく試みです。日本で初めての試みとして行われている看護連携型ユニフィケーションでは、学習会や事例検討会、コンサルテーション等の活動をとおして、看護ケアの質の向上、看護実践教育の質の向上を目指しています。

☆看護相談室

看護職者の生涯学習の拠点として、高知県の看護ケアの質の向上を図ることを目的に平成11年に始められた本事業は、今日に引き継がれています。家族看護学、精神看護学、がん看護学、慢性看護学、小児看護学、母性・助産看護学、地域看護学、老人看護学、在宅看護学、看護管理学の10領域において年2～3回、地域の看護専門職者を対象にケア検討会やリカレント教育などを実施しています。

地域の看護職者からのニーズも強く、県内の広い地域から多くの参加者を得て、本学部の事業として定着しています。

☆ボランティア活動

1回生から4回生まで、看護学部の学生は、自ら主体的に地域の様々な場で、ボランティア活動をしています。

高知医療センター「ハーモニーこうち」のボランティア活動への参加は、平成20年からスタートし、入院案内、図書サービス、小児見守り活動等を実践してきました。平成22年度には、高知医療センターの堀見院長先生から学生ボランティア活動に対して「いけいけさで功労賞」をいただきました。

そのほかにも、「赤ちゃん同窓会」や「小児糖尿病キャンプ」、「小学校での絵本の読み聞かせ」「バザーでの健康チェック」「心の教育センターボランティア」などたくさんのボランティア活動に積極的に取り組んでいます。

同窓会総会の開催

開催日時: 2010年 7月10日(土) 9:30~10:00

開催場所: 高新RKCホール

記念講演: 10:30~12:00

講師: 同窓会会長 南裕子氏

『なぜいま、看護職の役割拡大か』(高知女子大学看護学会との共催)



卒業生・修了生からひとこと

森下利子 (学部19期生)

高知女子大学看護学部が創設されてより58年の長い歴史を経て、今ここに看護学部同窓会が設立されたことに、感慨深さを感じます。歴史が長いだけに、本同窓会は年代も多岐にわたるおおらかな個性ある人たちから成りたっており、大きな潜在力を持った組織といえます。



看護系大学が193校を数えるまで飛躍的に増加し、1学年あたりの学生定員数も増えています。本同窓会もこれからは急激な勢いで同窓生の人数が増えてゆきます。私は現在、母校で教員として看護基礎教育に携わっていますが、年を重ねるごとに恩師や、先輩、同級生の存在の大きさを実感しています。

この同窓会が会員相互の支えになり、パワーを発揮していくことができれば、どんなに素晴らしいことでしょう！今後の発展を心より祈っています。

井上正隆 (修士6期生)

高知女子大学看護学部同窓会の設立にあたり、心よりお祝い申し上げます。

私は、本学看護学研究科を修了し、その後本学助教として働かせて頂いております。私は、新設の看護大学を卒業したこともあり、先輩や後輩のつながりは、ほとんどありません。そのような中で、本学看護学部が持つ縦のつながりは、大変うらやましく、貴重なものだと感じます。

高知女子大学看護学部の60年を振り返るのは、私には荷が重過ぎますが、そうした人と人とのつながりが、歴史を育み、またこれからの歴史を育てていくと考えたとき、同窓会の役割はとても大きいと感じます。設立にご尽力頂きました諸先輩方に重ねてお礼申し上げます。



原田(旧姓 笹岡)千枝 (学部39期生/修士9期生)



この度は看護学部同窓会設立おめでとうございます。私の大学時代はちょうどバブル期で、テレビには華やかに着飾った女子大生が登場していました。同じ女子大生ながら、かたやノーメイクで実習や研究に取り組んでいる自分たちと比べ、「あんな女子大生もおおるがやね〜」と笑いあったことでした。時代とともに看護学部も変わり、来年度には男女共学となり、看護学部は新たな時代に入ったように感じます。

学部が変わっていくことは寂しくもありますが、これからどのように発展していくのか楽しみでもあります。この看護学部同窓会が、同窓生のつながりを強め、看護学部の発展を後押しする力になることを願っています。

高知女子大学看護学部同窓会会則

第1章 総則

(名称)

第1条

本会は、高知女子大学看護学部同窓会と称する。

(目的)

第2条

本会は、会員相互の親睦と交流をはかり、会員の社会的発展に資し、併せて高知女子大学看護学部の発展に寄与することを目的とする。

(事務局)

第3条

本会事務局は、高知県高知市池 2751番地1 高知女子大学看護学部内に置く。

(事業)

第4条

本会は、その目的を達成するため次の事業を行なう。

1. 会員相互の親睦および交流
2. 会報の発行
3. 講演会等の開催
4. その他必要と認められる事業

第2章 会員

(会員)

第5条

本会は、次の会員で組織する。

1. 正会員 高知女子大学家政学部衛生看護学科卒業生、高知女子大学家政学部看護学科卒業生、高知女子大学看護学部看護学科卒業生、高知女子大学大学院看護学研究科修了生、高知女子大学大学院健康生活科学研究科修了生
2. 準会員 高知女子大学看護学部生および 高知女子大学大学院看護学研究科院生
3. 特別会員 高知女子大学看護学部教員および本会に貢献がある者として役員会で承認された者
4. 名誉会員 本会または高知女子大学看護学部の発展に寄与した者として役員会で承認された者

第3章 役員

(役員の種類、定員および選出)

第6条

1. 本会に次の役員を置く。

- | | | |
|------|----|---------------------------------|
| 会長 | 1名 | 正会員中より選出する。 |
| 副会長 | 2名 | 正会員中より選出する。うち1名は、看護学部長がその任に当たる。 |
| 書記 | 2名 | 正会員中より選出する。 |
| 会計 | 2名 | 正会員中より選出する。 |
| 会計監査 | 2名 | 正会員中より選出する。 |
| 庶務 | 3名 | 正会員中より選出する。 |

2. 各期に連絡調整幹事を若干名置く。

(役員の仕事)

第7条

役員の仕事は、次の通りとする。

1. 会長は、本会を代表し、会務を統轄する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはこれを代行する。
3. 書記は、総会・役員会の議事を記録し、保管する。

4. 会計は、本会の経理を処理する。
5. 会計監査は、会計監査に当たる。
6. 幹事は、本事業の企画および運営に当たる。
7. 庶務は、本会に関する事務を行う。

(役員任期)

第8条

1. 役員任期は、2年とし、任期満了の後でも後任の役員が選出されるまではその職務を行う。ただし、再任を妨げない。
2. 役員に欠員が生じた場合は補充する。ただし、役員任期は、前任者の残任期間とする。

第4章 会議

(会議の種類)

第9条

1. 本会の会議は、総会および役員会とする。

(総会)

第10条

総会は、定期総会及び臨時総会とする

1. 定期総会は、会長が招集する。ただし、事業計画、決算、予算案については役員承諾を得て決定する。
2. 臨時総会は、会長が必要と認めるとき、役員会が必要と認めるとき及び全会員の2割に当たる正会員が特に開催請求したときに招集する。
3. 総会の議長は、出席正会員の中から選出する。
4. 総会は、正会員をもって構成し、決議は出席正会員の過半数をもって決議する。可否同数の場合は議長の決定するところとする。
5. 総会の招集は、会日の15日前までに会議の目的たる事項、日時及び場所を記載した書面をもって通知する。

(役員会)

第11条

1. 役員会は、役員をもって組織し、会長がこれを招集する。議長は、役員の中より選出するものとし、本会の業務に必要な事項のうち次にあげる事項の審議決定を行う。
 - 1) 総会の招集に関する事項とこれに附議する事項
 - 2) その他本会の運営業務に必要な事項
2. 役員会は、役員半数以上の出席がなければ議事を開くことができない。
3. 役員会の決議は、出席役員3分の1をもって決議する。可否同数の場合は議長の決定するところとする。
4. 役員会に出席できないときは、委任状をもって会長にその議決権を委任することができる。

第5章 会計

(会費)

第12条

本会に必要な経費は、会費 15,000円(永久会費とする)と寄付金を以ってあてる。

第13条

本会の会計年度は、毎年 4月1日より翌年 3月31日までとする。

第6章 会則の改正

(会則の改正)

第14条

会則の改正は、役員会の議を経てこれを発議し、総会出席者の3分の2以上の賛成をもってなされる。

附則

1. 本会則は平成 21年 7月 4日より施行する。

同窓会設立にあたり寄付をいただいた方

本同窓会の設立にあたり、下記の皆様より温かいお言葉とともに寄付をいただきました。
誠にありがとうございました。

(敬称略) 平成22年6月16日現在

正会員

2期生 中村 雅子	11期生 明石 文子	18期生 陰山 陽子	26期生 山田 薫	33期生 畦地 博子	修士1期生 岩崎 順子
3期生 中澤 フミエ	南 裕子	佐藤 美穂子	時長 美希	益守 かづき	修士4期生 瓜生 浩子
4期生 中島 紀恵子	12期生 陳 正子	下平 唯子	森下 安子	34期生 池添 志乃	修士5期生 戸田 由美子
5期生 山崎 美恵子	13期生 梶本 市子	田中 雅子	27期生 松井 葉子	田井 雅子	修士6期生 井上 正隆
萩原 都史子	高木 和子	永尾 雅子	中野 綾美	35期生 川上 理子	修士7期生 山中 福子
7期生 岡田 湊子	14期生 齋藤 千賀	廣部 すみえ	28期生 山下 比布恵	37期生 寺岡 仁子	山中 福子
8期生 石本 純子	福井 智子	渡邊 富子	藤田 佐和	森口 美奈	坂本 章子
清原 美津子	15期生 坂口 和子	19期生 森下 利子	29期生 二宮 恭子	38期生 嶋岡 暢希	吉村 利津子
松岡 博子	村山 圭子	20期生 野嶋 佐由美	野末 聖香	43期生 齋藤 美紀	修士10期生 下元 理恵
松本 女里	16期生 伊賀上 睦見	21期生 森田 和江	廣末 ゆか	齋藤 美紀	修士11期生 小原 弘子
10期生 梶原 和歌	17期生 大名門 裕子	23期生 山本 雅子	吉本 知恵	小澤 若菜	坂元 綾
宮崎 和子	山崎 登代子	25期生 魚里 明子	竹崎 久美子	高谷 恭子	首藤 ひとみ
林 昭子		久保田 加代子	長戸 和子	55期生 安藤 千尋	関 正節
			30期生 今村 優子		
			池田 恵美子		
			32期生 橋村 恵理		

特別会員

池田 光徳	谷脇 文子
山田 寛	松本 鈴子
宮武 陽子	富川 順子

寄付のお願い

同窓会の寄付については、いつでも受けつけております。寄付金は、振込用紙をご使用ください。同窓生の皆様には、ご協力の程、よろしく願いいたします。なお、ホームページもご覧ください。



事務局

〒781-8515 高知市池2751-1 高知女子大学看護学部
Fax: 088-847-8750

ホームページアドレス

高知女子大学
<http://www.kochi-wu.ac.jp/>
高知女子大学看護学部
<http://www.kochi-wu.ac.jp/~kango/>

編集後記

同窓会会報の創刊号の編集にあたり、改めて看護学部の歴史の奥深さを実感しました。
我が国初めての4年制看護系大学としてスタートした看護学部も来年は男女共学、高知県立大学に校名変更されます。ちよつと寂しいような、しかし60年余りの歴史と伝統は力強く受け継がれており、同窓生一人ひとりの大きな力、ゆるぎない自信になっていることを確信します。
大きな変革の今、看護学部同窓会として、皆様と一緒に、同窓生同士のつながりを深められるような活動をしていけたらと思っております。ぜひ多くの声を会報でも届けたいと思っております。これからもよろしく願います。